

# 第1章 はじめに

## 1.1 はじめに

本マニュアルは、PrintPro for Designer ランタイム の仕様、及び使用方法について記載しています。

(以下、「PrintPro for Designer」を「本製品」と呼び、ご説明いたします)

本製品のランタイムは、お客様が作成されたアプリケーションに組み込み、データ定義ファイル・印刷データを使用して印刷及びプレビュー等を行う機能が提供されております。

## 1.2 ランタイムの種類

本製品ランタイムは、下記の2種類の呼び出し方法での提供を行っております。

- DLLからの関数呼び出し
- ActiveX

## 1.3 ランタイムの配布について

本製品のDLL、ActiveXを使って作成したアプリケーションを配布する場合、本製品のファイルをいくつか添付する必要があります。

---

### 1.3.1 DLLを使用する場合

次のファイルをWindowsの『SYSTEM』フォルダにコピーしてご使用ください。

FORMPR32.dll	印刷/プレビューDLL
PRNSUP32.dll	プリンタコントロールDLL
BARPRN32.dll	バーコード印刷DLL
PDFPRN32.dll	バーコード印刷DLL
PDFE32.dll	バーコード印刷DLL
QRPRN32.dll	バーコード印刷DLL
LTKRN12N.dll	イメージ処理DLL
LFCMP12n.dll	イメージ処理DLL
LFFAX12N.dll	イメージ処理DLL
Lfpng12n.dll	イメージ処理DLL
LFTIF12N.dll	イメージ処理DLL
LTDIS12n.dll	イメージ処理DLL
LTFIL12N.dll	イメージ処理DLL
LTIMG12N.dll	イメージ処理DLL
LFBMP12N.dll	イメージ処理DLL
LFGIF12N.DLL	イメージ処理DLL

次のファイルをWindowsの『FONTS』フォルダにコピーしてご使用ください。

JBCCOCR-B.ttf	OCR-Bフォント(バーコード用)
---------------	-------------------

※ バーコードを印刷しない場合、次のファイルは配布する必要はありません。BARPR32.dll、PDFPRN32.dll、PDFE32.dll、QRPRN32.dll、JBCCOCR-B.ttf

※ 上記のファイルは、弊社との契約なしに配布することはできません。

---

### 1. 3. 2 PrintPro for Designer ActiveXコントロールを使用する場合

次のファイルをWindowsの『SYSTEM』フォルダにコピーしてご使用ください。

JBCCPPTA.ocx	PrintPro for Designer ActiveXコントロール
FORMPR32.dll	印刷/プレビューDLL
PRNSUP32.dll	プリンタコントロールDLL
BARPR32.dll	バーコード印刷DLL
PDFPRN32.dll	バーコード印刷DLL
PDFE32.dll	バーコード印刷DLL
QRPRN32.dll	バーコード印刷DLL
LTKRN12N.dll	イメージ処理DLL
LFCMP12n.dll	イメージ処理DLL
LFFAX12N.dll	イメージ処理DLL
Lfpng12n.dll	イメージ処理DLL
LFTIF12N.dll	イメージ処理DLL
LTDIS12n.dll	イメージ処理DLL
LTFIL12N.dll	イメージ処理DLL
LTIMG12N.dll	イメージ処理DLL
LFBMP12N.dll	イメージ処理DLL
LFGIF12N.DLL	イメージ処理DLL

次のファイルをWindowsの『FONTS』フォルダにコピーしてご使用ください。

JBCCOCR-B.ttf	OCR-Bフォント(バーコード用)
---------------	-------------------

※ バーコードを印刷しない場合、次のファイルは配布する必要はありません。BARPR32.dll、PDFPRN32.dll、PDFE32.dll、QRPRN32.dll、JBCCOCR-B.ttf

※ 上記のファイルは、弊社との契約なしに配布することはできません。

#### ●OLEサポートDLL

PrintPro for Designer ActiveXコントロールを使用する場合は、上記ファイルの他に、次のOLEサポートDLLが必要です。

- ・OLEAUT32.dll
- ・OLEPRO32.dll

#### ●ActiveXコントロール、OLEサポートDLLの登録

ActiveXコントロール(\*.ocx)と、OLEサポートDLL(\*.dll)は、プログラム開発時、あるいはこれらを使用したアプリケーションを実行する前に、必ずシステム環境にレジスト(登録)する必要があります。

## 第2章 ランタイム

## 2. 1 ActiveXプロパティ

### プロパティ一覧

Adjustx / Adjusty	横方向、縦方向の調整値
Button	印刷ボタン(プレビュー表示画面)指定
DataFileName	印刷データのファイル名
DataType	印刷データのファイルの形式指定
DefName	データ定義ファイル名
DefPrinter	プリンタ指定
FormCheck	印刷前のフォーム確認方法の指定
FormLinkItem	自動フォーム指定項目番号
FormSetMode	自動フォーム選択指定
Image	台紙(ビットマップ)表示指定
KeyBreak	改ページ指定項目指定
Magnification	倍率
NumPage	印刷部数
PrintData	印刷データ
SelectForm	印刷フォーム番号
SizeMode	プレビュー表示モード
SizeX / SizeY / SizeW / SizeH	プレビュー表示ウィンドウの位置、大きさ
StartLabel	ラベルスタート位置
Title	印刷タイトル指定

### Adjustx, Adjusty

<b>対象</b>	PrintFormメソッド、TestPrintメソッド
<b>機能</b>	印刷位置微調整値
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA.Adjustx = float [form.].JBCCPPTA.Adjusty = float
<b>設定値</b>	単精度型 Adjustx = 横方向 -99.9~99.9(mm) Adjusty = 縦方向 -99.9~99.9(mm)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	横方向、縦方向の調整値を指定します。 正の値は、印刷位置を右(横方向)、または下(縦方向)へ移動します。 負の値は、印刷位置を左(横方向)、または上(縦方向)に移動します。
<b>関連</b>	

### Button

<b>対象</b>	PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	プレビュー表示画面で印刷ボタンを使用するか、使用しないかを指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA.Button = integer%
<b>設定値</b>	整数型

	0	使用しません。
	1	使用します。
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照	
<b>解説</b>	Button=1の場合、プレビュー表示ウィンドウに印刷ボタンが作成され、プレビュー表示中のページを印刷することができます。	
<b>関連</b>		

## DataFileName

<b>対象</b>	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	印刷/プレビュー表示を行うデータのファイル名を指定します。 <b>※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。</b>
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. DataFileName = String\$
<b>設定値</b>	文字型(ファイル名)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	DataTypeプロパティの値が1~4の時、使用するデータファイル名を指定します。
<b>関連</b>	DataTypeプロパティ

## Data Type

<b>対象</b>	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	DataFileNameプロパティで指定するファイルの形式を指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. DataType = integer%
<b>設定値</b>	整数型
	0 文字列
	1 CSV形式(タイトル行あり)
	2 CSV形式(タイトル行なし)
	3 TAB区切り形式(タイトル行あり)
	4 TAB区切り形式(タイトル行なし)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	DataType=0の場合、データはTAB区切り形式の文字列となり、文字列をPrintDataプロパティで指定します。DataType=1~4の場合、データはファイルの内容となり、ファイル名をDataFileNameプロパティで指定します。
<b>関連</b>	DdataFileNameプロパティ

## DefName

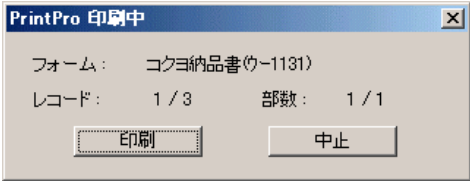
<b>対象</b>	PrintFormメソッド、TestPrintメソッド、PreviewFormメソッド、GetFormCountメソッド、FormSetModeプロパティ、GetFormNameメソッド、SetOffsetメソッド、SetPrinterメソッド
<b>機能</b>	コントロールで使用するPrintProデータ定義ファイルを指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. DefName = String\$
<b>設定値</b>	文字型(ファイル名)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	PrintProで印刷を行う情報は、全てデータ定義に含まれます。印刷を行うフォームを含むデータ定義ファイルを指定します。

関連	
----	--

## DefPrinter

対象	PrintFormメソッド、TestPrintメソッド、PreviewFormメソッド
機能	印刷/プレビュー表示に使用するプリンタ指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. DefPrinter = integer%
設定値	整数型 0 通常使うプリンタを使用します。 1 フォームで指定されたプリンタを使用します。
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	DefPrinter=0の場合、Windowsに設定されている「通常使うプリンタ」の設定で印刷/プレビューが行われます。DefPrinter=1の場合、フォームを作成した時のページ設定の[プリンタ]で指定した設定で印刷/プレビューが行われます。
関連	SetPrinterメソッド

## FormCheck

対象	PrintFormメソッド
機能	印刷前のフォーム確認の有無を指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. FormCheck = integer%
設定値	整数型 0 印刷前、確認ダイアログボックスを表示しません。 1 印刷前、ページ毎に確認ダイアログボックスを表示します。 2 印刷前、フォームが切り替わるごとに確認ダイアログボックスを表示します。 3 印刷前の確認ダイアログボックス、印刷中ダイアログボックスを表示しません。
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	FormCheck=1の場合、フォームを印刷する時に各ページの印刷前に確認を要求します。【印刷】をクリックすると、印刷が開始されます。 FormCheck=2の場合、新しいフォームの印刷前に、確認を要求します。 <b>◀PrintPro 印刷中▶ダイアログボックス</b> 
関連	

## FormLinkItem

対象	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
機能	自動フォーム指定項目(0~n)を指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. FormLinkItem = integer%
設定値	整数型
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	FormSetMode=1の場合に、自動フォーム選択を行うための判定に使用する項目を指定します。 <b>※ ラベルではFormLinkItemは使用できません。</b>



<b>関連</b>	FormSetModeプロパティ
-----------	------------------

## FormSetMode

<b>対象</b>	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	自動フォーム選択の有無を指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. FormSetMode = integer%
<b>設定値</b>	整数型
	0 自動切り替えを行いません。
	1 自動切り替えを行います。
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	FormSetMode=1の場合、データの内容により印刷するフォームを自動的に選択します。 FormLinkItemプロパティで指定された項目のデータの内容が、本製品 でフォーム保存時に指定できるコードの内容と一致するフォームが選択されます。
<b>関連</b>	FormLinkItemプロパティ

## Image

<b>対象</b>	PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	台紙(ビットマップ)表示の有無を指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. Image = integer%
<b>設定値</b>	整数型
	0 表示しません。
	1 表示します。
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	台紙(ビットマップ、JPEG)表示の有無を指定します。
<b>関連</b>	

## KeyBreak

対象	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
機能	改ページ指定項目(-1、0、1~n)を指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. KeyBreak = integer%
設定値	整数型 1 1レコードを1ページに印刷します。 0 改ページ処理を行わない。明細行数を超えると改ページを行います。 (1~フォーム数)+1 指定項目(1~)の内容が不一致で改ページを行います。
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	ハガキやラベルでは1レコードが1枚のハガキやラベルに対応しますが、伝票のように明細行を持つものでは、複数のレコードを1枚の伝票に印刷します。この場合、どこでレコードを区切るかを指定する必要があります。PrintProでは、改ページ条件で指定された項目の内容が、前のレコードの内容と同じでない場合に、次のページに移します。『毎レコード・改ページ』が選択されている場合には、1レコードを1ページに印刷します。
関連	SelectFormプロパティ

## Magnification

対象	PrintFormメソッド
機能	印刷の倍率を指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. Magnification = integer%
設定値	整数型 10~400%
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	印刷の倍率を指定します。プレビュー表示の倍率は変化しません。
関連	

## NumPage

対象	PrintFormメソッド
機能	印刷部数を指定します。
書式	[form.].JBCCPPTA. NumPage = integer%
設定値	整数型
用法	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
解説	フォームにラベル指定がある場合、印刷部数は同一内容のラベルの枚数となります。ラベル指定がない場合、印刷部数はページのコピー枚数となります。
関連	

## PrintData

対象	PrintFormメソッド、PreviewFormメソッド
機能	印刷/プレビュー表示を行うデータを指定します。 <b>※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。</b>
書式	[form.].JBCCPPTA. PrintData = String\$
設定値	文字型
用法	設計時: 設定および参照

	実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	PrintDataはDataType=0の時使用されます。 印刷データ形式印刷データの形式
<b>関連</b>	DataTypeプロパティ

### SelectForm

<b>対象</b>	PrintFormメソッド
<b>機能</b>	印刷フォームを指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. SelectForm = integer%
<b>設定値</b>	整数型 0～フォーム数-1
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	FormSetMode=1の場合、SelectFormプロパティは無視されます。
<b>関連</b>	FormSetModeプロパティ

### SizeMode

<b>対象</b>	PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	プレビュー表示時の初期状態を指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. SizeMode = integer%
<b>設定値</b>	整数型 0 最大サイズで表示します。 1 指定サイズで表示します。
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	指定サイズで表示の場合、SizeX、SizeY、SizeW、SizeHプロパティの値が使用されます。
<b>関連</b>	SizeX / SizeY / SizeW / SizeHプロパティ

### SizeX, SizeY, SizeW, SizeH

<b>対象</b>	PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	プレビュー表示時のウィンドウ原点、大きさを指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. SizeX = integer% [form.].JBCCPPTA. SizeY = integer% [form.].JBCCPPTA. SizeW = integer% [form.].JBCCPPTA. SizeH = integer%
<b>設定値</b>	整数型 SizeX = 横方向原点位置(ドット単位) SizeY = 縦方向原点位置(ドット単位) SizeW = ウィンドウ幅(ドット単位) SizeH = ウィンドウ高さ(ドット単位)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	SizeMode=1の時この値が使用されます。
<b>関連</b>	SizeModeプロパティ

### StartLabel

<b>対象</b>	PrintFormメソッド
<b>機能</b>	ラベルスタート位置(1～n枚目)を指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. StartLabel = integer%
<b>設定値</b>	整数型
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	ラベルフォームの場合に、1ページ内のどのラベルから、印刷を開始するかを指定します。左上のラベルを1として、左から右、上から下に数えます。
<b>関連</b>	

## Title

<b>対象</b>	PrintFormメソッド、TestPrintメソッド、PreviewFormメソッド
<b>機能</b>	PrintProタイトル指定します。
<b>書式</b>	[form.].JBCCPPTA. Title = String\$
<b>設定値</b>	文字型(タイトル名)
<b>用法</b>	設計時: 設定および参照 実行時: 設定および参照
<b>解説</b>	印刷/プレビュー表示を行う時のウィンドウタイトル、印刷JOB名をを指定します。(31文字以内)
<b>関連</b>	

## 2.2 ActiveXメソッド

### メソッド一覧

GetFormCount	データ定義に含まれるフォームの数を取得
GetFormName	データ定義に含まれるフォームの名前を取得
PreviewForm	プレビュー表示
PrintForm	印刷
SetOffset	印刷位置の微調整
SetPrinter	プリンタを指定
TestPrint	テスト印刷

### GetFormCount

<b>機能</b>	データ定義に含まれるフォームの数を取得します。
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. GetFormCount
<b>引数</b>	なし
<b>戻り値</b>	整数型(フォーム数) 1~ 正常終了しました。 0 エラーが発生しました。
<b>解説</b>	データ定義に含まれるフォームの数を取得します。
<b>関連</b>	DefNameプロパティ、GetFormNameメソッド

### GetFormName

<b>機能</b>	データ定義に含まれる指定フォームのフォーム名を取得します。
<b>書式</b>	String\$=[form.].JBCCPPTA. GetFormName(integer%)
<b>引数</b>	整数型 フォーム番号(0~フォーム数-1)
<b>戻り値</b>	文字型(フォーム名) 文字列 正常終了しました。 NULL エラーが発生しました。
<b>解説</b>	データ定義に登録されているフォームを、コンボボックスで表示します。
<b>サンプル</b>	For i% = 0 To JBCCPPTA1.GetFormCount - 1 Combo1.AddItem JBCCPPTA1.GetFormName(i%) Next i% Combo1.ListIndex = 0
<b>関連</b>	DefNameプロパティ、GetFormCountメソッド

### PreviewForm

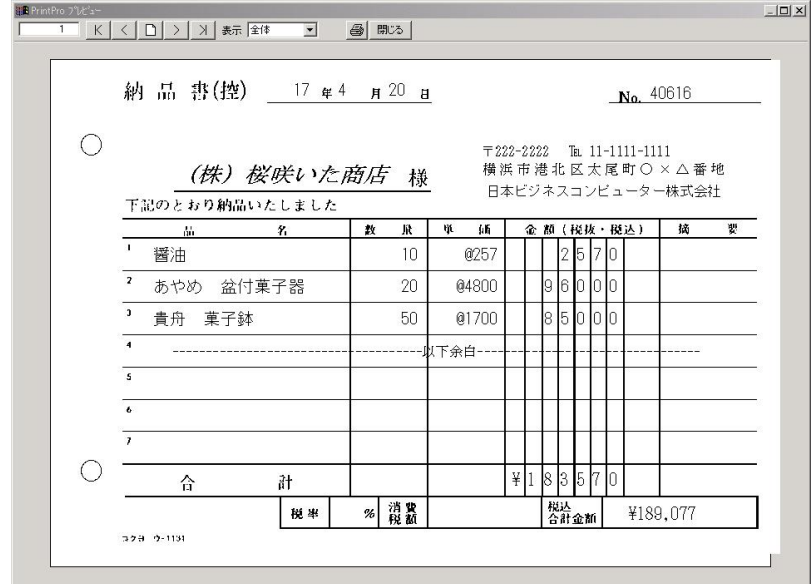
<b>機能</b>	プレビュー表示を行います。
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. PreviewForm
<b>引数</b>	なし
<b>戻り値</b>	整数型 0以上 正常終了しました。 -1 他のプロセスが使用中です。 -3 データ定義の指定に誤りがあります。 -4 リソースが作成できません。

- 5 プリンタがオープンできません。
- 6 DLLがロードできません
- 9 メモリが足りません。
- 30 データファイルの指定に誤りがあります。

**解説**

データのプレビュー表示を行います。

**《PrintPro プレビュー》ダイアログボックス**



**1** ページ表示ウィンドウ  
表示中のページ番号を表示します。

**K** 先頭ページボタン  
先頭のページを表示します。

**<** 前ページボタン  
前のページを表示します。

**□** ページ指定ボタン  
《ページ指定》ダイアログボックスを開き、表示したいページをスピンボタンで選択して表示します。


**《ページ指定》ダイアログボックス**



**>** 次ページボタン  
次のページを表示します。

**>** 最終ページボタン  
最終ページを表示します。

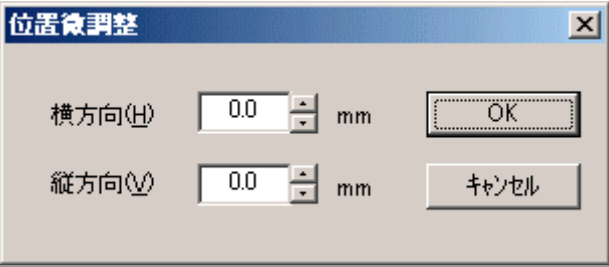
**表示 全体** **表示倍率指定コンボボックス**  
プレビュー表示をする倍率を、全体/横固定/縦固定/50%/75%/100%/125%/150%/200%/300%/400%の中から選択します。《PrintPro プレビュー》ダイアログボックスの上で右クリックをしてポップアップメニューを表示し、その中から選択して変更することもできます。

	 <b>印刷ボタン</b> 表示中のページを印刷します。
	<b>【閉じる】</b> ≪PrintPro プレビュー≫ダイアログボックスを閉じます。
<b>関連</b>	Buttonプロパティ、DataFileNameプロパティ、DayaTypeプロパティ、DefNameプロパティ、DefPrinterプロパティ、FormCheckプロパティ、FormLinkItemプロパティ、FormSetModeプロパティ、KeyBreakプロパティ、PrintDataプロパティ、SelectFormプロパティ、SizeModeプロパティ、Sizez / Sizey / Sizew / Sizehプロパティ、Titleプロパティ

## PrintForm

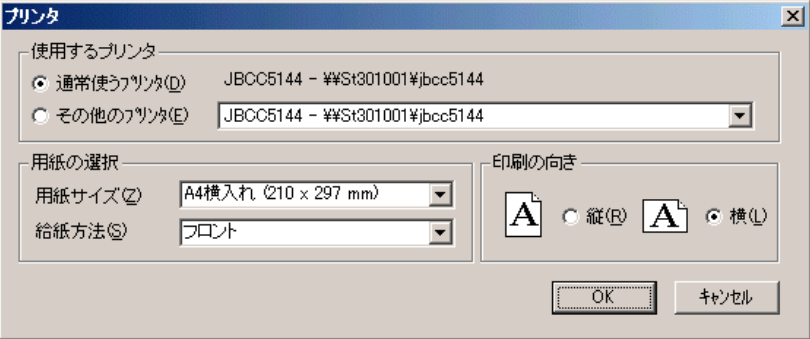
<b>機能</b>	印刷を行います。																
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. PrintForm																
<b>引数</b>	なし																
<b>戻り値</b>	整数型 <table border="1"> <tr> <td>0以上</td> <td>正常終了しました。実際に印刷されたレコード数(取消ボタンをクリックした時も含む)</td> </tr> <tr> <td>-1</td> <td>他のプロセスが使用中です。</td> </tr> <tr> <td>-3</td> <td>データ定義の指定に誤りがあります。</td> </tr> <tr> <td>-4</td> <td>リソースが作成できません。</td> </tr> <tr> <td>-5</td> <td>プリンタがオープンできません。</td> </tr> <tr> <td>-6</td> <td>DLLがロードできません。</td> </tr> <tr> <td>-9</td> <td>メモリが足りません。</td> </tr> <tr> <td>-30</td> <td>データファイルの指定に誤りがあります。</td> </tr> </table> <p><b>※ 印刷が取消(中止)された場合、印刷が完了したレコード数が返ります。</b></p>	0以上	正常終了しました。実際に印刷されたレコード数(取消ボタンをクリックした時も含む)	-1	他のプロセスが使用中です。	-3	データ定義の指定に誤りがあります。	-4	リソースが作成できません。	-5	プリンタがオープンできません。	-6	DLLがロードできません。	-9	メモリが足りません。	-30	データファイルの指定に誤りがあります。
0以上	正常終了しました。実際に印刷されたレコード数(取消ボタンをクリックした時も含む)																
-1	他のプロセスが使用中です。																
-3	データ定義の指定に誤りがあります。																
-4	リソースが作成できません。																
-5	プリンタがオープンできません。																
-6	DLLがロードできません。																
-9	メモリが足りません。																
-30	データファイルの指定に誤りがあります。																
<b>解説</b>	印刷を行います。																
<b>関連</b>	Adjustx / Adjustyプロパティ、DataFileNameプロパティ、DataTypeプロパティ、DefNameプロパティ、DefPrinterプロパティ、FormCheckプロパティ、FormLinkItemプロパティ、FormSetModeプロパティ、KeyBreakプロパティ、Magnificationプロパティ、NumPageプロパティ、PrintDataプロパティ、SelectFormプロパティ、Titleプロパティ																

## SetOffset

<b>機能</b>	印刷位置の微調整を行います。
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. SetOffset(integer%)
<b>引数</b>	整数型 フォーム番号(0~フォーム数-1)
<b>戻り値</b>	整数型 1 正常終了しました。 0 エラーが発生しました。
<b>解説</b>	<p>SetOffsetメソッドを実行すると、「位置微調整」ダイアログボックスが表示されます。横方向、縦方向の調整値を入力します。正の値は、印刷位置を右(横方向)または下(縦方向)へ移動します。負の値は、印刷位置を左(横方向)または上(縦方向)に移動します。</p> <p><b>「位置微調整」ダイアログボックス</b></p> 
<b>関連</b>	DefNameプロパティ



## SetPrinter

<b>機能</b>	印刷/プレビュー表示を行う時のプリンタを指定します。
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. SetPrinter(integer%)
<b>引数</b>	整数型 フォーム番号(0~フォーム数-1)
<b>戻り値</b>	整数型 1 正常終了しました。 0 エラーが発生しました。
<b>解説</b>	<p>SetPrinterメソッドを実行すると、「プリンタ」ダイアログボックスが表示されます。プリンタを指定します。</p> <p><b>「プリンタ」ダイアログボックス</b></p>  <p>【通常使うプリンタ(D)]を指定すると、フォーム印刷時にはWindowsで設定されている【通常使うプリンタ】を使用し、用紙サイズ、給紙方法、印刷の向きをこのダイアログボックスで指定されたものに変更します。【その他のプリンタ(E)]を指定すると、フォーム印刷時にはプリンタ、用紙サイズ、給紙方法、印刷の向きをこのダイアログボックスで指定されたものに変更します。</p> <p><b>※ プリンタ設定をアプリケーションから行う場合、DefPrinterプロパティ=1 としてください。</b></p>
<b>関連</b>	DefPrinterプロパティ、DefNameプロパティ

## TestPrint

<b>機能</b>	テスト印刷を行います。
<b>書式</b>	integer%=[form.].JBCCPPTA. TestPrint
<b>引数</b>	なし
<b>戻り値</b>	整数型 0 正常終了(取消ボタンをクリックした時も含む) しました。 -1 他のプロセスが使用中です。 -3 データ定義の指定に誤りがあります。 -4 リソースが作成できません。 -5 プリンタがオープンできません。 -6 DLLがロードできません。 -9 メモリが足りません。
<b>解説</b>	1ページの印刷が行われます。固定項目データは("HHHHH")、明細項目データは("XXXXX")が印刷されます。イメージ型の項目データは枠のみが印刷されます。
<b>関連</b>	Adjustx / Adjustyプロパティ、DefNameプロパティ、DefPrinterプロパティ、Magnificationプロパティ、SelectFormプロパティ、Titleプロパティ

## 2.3 DLL構造体

### 構造体一覧

ADJUSTINFO	印刷微調整値情報
DEFINFO	データ定義内容
FIELDLIST	データ定義項目の内容
FORMLIST	フォーム名、コードの内容
FORMSPEC	フォームの詳細内容
PREVIEWINFO	プレビューを行うための情報
PREVIEWINFO2	プレビューを行うための情報
PRINTENV	プリンタ設定情報
PRINTINFODATA	印刷、プレビューを行うための情報

### ADJUSTINFO

印刷微調整値の情報を持ちます。GetAdjust関数、SetAdjust関数がこの構造体を使用します。

Type ADJUSTINFO

Def\_x As Integer '全体横方向印刷微調整値  
Def\_y As Integer '全体縦方向印刷微調整値  
Form\_x As Integer 'フォーム横方向印刷微調整値  
Form\_y As Integer 'フォーム縦方向印刷微調整値

End Type

Def_x	全体横方向印刷微調整値
Def_y	全体縦方向印刷微調整値
Form_x	フォーム横方向印刷微調整値
Form_y	フォーム縦方向印刷微調整値

### DEFINFO

データ定義ファイル内のデータ定義項目数、登録フォーム数が入ります。GetDefinfo関数がこの構造体を使用します。

Type DEFINFO

gnField As Integer 'データ定義の項目数  
gnForm As Integer 'データ定義に登録されているフォーム数

End Type

gnField	データ定義の項目数
gnForm	データ定義に登録されているフォーム

### FIELDLIST

データ定義ファイル内のデータ定義項目の内容が入ります。GerFieldList関数がこの構造体を使用します。

Type FIELDLIST

dName As String \* 16 '項目名  
dType As Integer 'データ型  
dnChar As Integer '文字数  
dHeadItem As Integer '区分

End Type

dName	項目名。15文字以内の文字列です。
-------	-------------------

<b>dType</b>	データ型	
	0	文字
	1	数値
	2	日付
	3	郵便番号
	4	電話番号
	5	集計
	6	演算
	7	イメージ
	8	バーコード
	9	部数
10	連番	
<b>dnChar</b>	文字数	
<b>dHeadItem</b>	区分	
	0	固定項目
	1	明細項目

## FORMLIST

データ定義ファイル内のフォーム名、コードの内容が入ります。GetFormList関数がこの構造体を使用します。

Type FORMLIST

```
fName As String * 21          'フォーム名
fCode1 As String * 11        'コード
fCode2 As String * 11        '予約済み
```

End Type

<b>fName</b>	フォーム名。20文字以内の文字列です。
<b>fCode1</b>	コード。10文字以内の文字列です。
<b>fCode2</b>	予約済み

## FORMSPEC

データ定義ファイル内のフォームの詳細が入ります。GetFormSpec関数がこの構造体を使用します。

Type FORMSPEC

```
fType As Integer              '用紙種類
f_size_x As Integer           '用紙サイズ(横)
f_size_y As Integer           '用紙サイズ(縦)
wnum As Integer               'ラベル数(横)
hnum As Integer               'ラベル数(縦)
wpitch As Integer             'ラベルピッチ(横)
hpitch As Integer             'ラベルピッチ(縦)
BmpFileName As String * 260   'イメージファイル名
dpi_label As Integer           'イメージDPI精度
MaxItemLine As Integer        '明細行の最大行数
f_adj_x As Integer            '位置微調整値(横方向)
f_adj_y As Integer            '位置微調整値(縦方向)
Reserved As String * 8        '予約済み
```

End Type

<b>f_type</b>	用紙種類	
	0x0008	A3
	0x0009	A4
	0x000B	A5
	0x000c	B4
	0x000d	B5
	0x0100	15in*11in
	0x0101	10in*11in
	0x0200	ハガキ
	0x1000	連票
	0x2000	用紙方向横
	0x4000	ラベル
	0x8000	任意サイズ
<b>f_size_x</b>	用紙サイズ(横方向)0.1mm単位	
<b>f_size_y</b>	用紙サイズ(縦方向)0.1mm単位	
<b>wnum</b>	ラベル枚数(横)	
<b>hnum</b>	ラベル枚数(縦)	
<b>wpitch</b>	ラベルピッチ(横) 0.1mm単位。ラベルの左端から、1つ右のラベルの左端までの距離です。	
<b>hpitch</b>	ラベルピッチ(縦) 0.1mm単位。ラベルの上端か、1つ下のラベルの上端までの距離です。	
<b>BmpFileName</b>	イメージファイル名。台紙(イメージファイル)のフルパスの名前です。	
<b>dpi_label</b>	イメージ解像度(DPI)。BmpFileNameの解像度を0.1dpi単位で表わします。	
<b>MaxItemLine</b>	明細行の最大行数。明細行を持つフォームの明細行数です。	
<b>f_adj_x</b>	位置微調整値(横方向)0.1mm単位	
	正の値	右方向に移動します。
	負の値	左方向に移動します。
<b>f_adj_y</b>	位置微調整値(縦方向)0.1mm単位	
	正の値	下方向に移動します。
	負の値	上方向に移動します。
<b>reserved</b>	予約済み	

## PREVIEWINFO

プレビューを行うための情報を持ちます。PreViewForm関数がこの構造体を使用します。

Type PREVIEWINFO

mode As Integer	'台紙(ビットマップ)表示の有無
scale_x As Integer	'表示解像度(横方向)
scale_y As Integer	'表示解像度(縦方向)
origin_x As Integer	'表示原点(横方向)
origin_y As Integer	'表示原点(縦方向)
rectleft As Integer	'表示範囲(左端)
recttop As Integer	'表示範囲(上端)
rectright As Integer	'表示範囲(右端)
rectbottom As Integer	'表示範囲(下端)

End Type

<b>mode</b>	台紙(ビットマップ)表示の有無	
	0	表示しません。
	1	表示します。

<b>scale_x</b>	表示解像度(横方向)0.1 dpi単位。 x: ウィンドウ上の用紙の幅に対応するドット数、xf: 用紙の幅(0.1mm単位)とscale_xは次のようになります。 $scale\_x = x / xf * 254 * 10$
<b>scale_y</b>	表示解像度(縦方向)0.1 dpi単位。 y: ウィンドウ上の用紙の高さに対応するドット数、yf: 用紙の高さ(0.1mm単位)とscale_yは次のようになります。 $scale\_y = y / yf * 254 * 10$
<b>origin_x</b>	表示原点(横方向)ドット単位。プレビューを行うウィンドウ内の、用紙の原点座標(横方向)をドット単位で指定します。
<b>origin_y</b>	表示原点(縦方向)ドット単位。プレビューを行うウィンドウ内の、用紙の原点座標(縦方向)をドット単位で指定します。
<b>rectleft</b>	表示範囲(左端)ドット単位。プレビューを行う用紙の左端をドット単位で指定します。
<b>recttop</b>	表示範囲(上端)ドット単位。プレビューを行う用紙の上端をドット単位で指定します。
<b>rectright</b>	表示範囲(右端)ドット単位。プレビューを行う用紙の右端をドット単位で指定します。
<b>rectbottom</b>	表示範囲(下端)ドット単位。プレビューを行う用紙の下端をドット単位で指定します。

●rectleft、recttop、rectright、rectbottomによる表示範囲の指定は、プレビューを行う用紙がウィンドウより大きい場合に、ウィンドウの外側の表示を規制して表示を速くするために指定します。

## PREVIEWINFO2

プレビューを行うための情報を持ちます。PrintProPreview関数がこの構造体を使用します。

Type PREVIEWINFO2

image As Integer	‘台紙(ビットマップ)
size As Integer	‘表示サイズ
size_x As Integer	‘表示原点(横方向)
size_y As Integer	‘表示原点(縦方向)
width As Integer	‘表示範囲(幅)
hight As Integer	‘表示範囲(高さ)
button As Integer	‘印刷ボタン 0=なし 1= あり
reserved As Integer	‘予約済み

End Type

<b>image</b>	台紙(ビットマップ)表示の有無	
	0	表示しません。
	1	表示します。
<b>size</b>	表示サイズ	
	0	画面に最大サイズでプレビュー表示します。
	1	指定サイズsize_x、size_y、width、hightでウィンドウサイズを指定します。
<b>size_x</b>	表示原点(横方向)ドット単位。プレビューを行うウィンドウ内の、用紙の原点座標(横方向)をドット単位で指定します。	
<b>size_y</b>	原点(方向)ドット単位。プレビューを行うウィンドウ内の、用紙の原点座標(縦方向)をドット単位で指定します。	
<b>width</b>	表示範囲(幅)ドット単位。プレビューを行う幅をドット単位で指定します。	
<b>hight</b>	表示範囲(高さ)ドット単位。プレビューを行う高さをドット単位で指定します。	
<b>button</b>	印刷ボタン指定	
	0	なし
	1	あり

## PRINTENV

プリンタ設定情報を持ちます。PrinterSetup関数がこの構造体を使用します。

Type PRINTENV

```

fPrinter As Integer          '使用プリンタ
PrinterName As String * 32  'プリンタ名
PrinterDriver As String * 9  '予約済み
PrinterPort As String * 15  '予約済み
Orientation As Integer      '用紙方向
PaperSize As Integer        '用紙サイズ番号
DefaultSource As Integer    '給紙方法番号

```

End Type

<b>fPrinter</b>	使用プリンタ	
	0	通常使うプリンタを使用します。
	1	その他のプリンタを使用します。
<b>PrinterName</b>	プリンタ名。プリンタドライバの名前です。 ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。	
<b>PrinterDriver</b>	予約済み	
<b>PrinterPort</b>	予約済み	
<b>Orientation</b>	用紙方向	
	1	縦
	2	横
<b>PaperSize</b>	用紙サイズ(用紙番号) プリンタの持つ用紙の番号です。Windowsであらかじめ定義されている番号と、プリンタドライバ特有の番号があります。	
<b>DefaultSource</b>	給紙方法(トレイ番号) プリンタの持つトレイの番号です。Windowsであらかじめ定義されている番号と、プリンタドライバ特有の番号があります。	

※ PrinterDriver、PrinterPortは以前のバージョンとの互換性のため領域が予約されています。この領域の内容を変更しないでください。

## PRINTINFODATA

印刷、プレビューを行うための情報を持ちます。FormPrintOut関数、PreViewForm関数がこの構造体を使用します。

Type PRINTINFODATA

```

prnPrintMode As Integer      '印刷モード
prnGroupName As String * 260 'データ定義名
prnNumPage As Integer        '印刷部数
prnNumRec As Integer         '印刷レコード数
prnKey As Integer            '改ページ指定項目番号
prnDefPrinter As Integer     'プリンタ指定
prnSelectForm As Integer     '印刷フォーム番号
prnFormCheck As Integer     '印刷前のフォーム確認
prnFormSetMode As Integer    '自動フォーム選択の有無
prnFormLinkItem As Integer   '自動フォーム指定項目番号
prnAdjust_x As Integer       '横方向印刷位置微調整値
prnAdjust_y As Integer       '縦方向印刷位置微調整値
prnLabelSL As Integer        'ラベルフォームの開始ラベル番号
prnReserved2 As Integer      '予約済み(&h1000固定)
prnMag As Integer            '倍率 10-400
prnReserved3 As String * 12  '予約済み

```

End Type

<b>prnPrintMode</b>	印刷モード	
	0	通常印刷
	1	テスト印刷

<b>prnGroupName[n]</b>	データ定義名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
<b>PrnNumPage</b>	印刷部数(1~n)
<b>prnNumRec</b>	印刷レコード数(1~n)
<b>prnKey</b>	改ページ指定項目(-1、0、1~n) 0 1レコードを1ページに印刷します。 -1 改ページ処理を行いません。明細行数を超えると改ページを行います。
<b>prnDefPrinter</b>	プリンタ指定 0 通常使うプリンタを使用します。 1 フォーム指定のプリンタ、および設定を使用します。
<b>prnSelectForm</b>	印刷フォーム番号(0~)
<b>prnFormCheck</b>	印刷前のフォーム確認の有無 0 確認を行いません。 1 フォーム毎に確認を行います。 2 フォーム変更時に確認を行います。 -1 印刷中ダイアログボックスを表示しません。
<b>prnFormSetMode</b>	自動フォーム選択の有無 0 自動切り替えを行いません。 1 自動切り替えを行います。
<b>prnFormLinkItem</b>	自動フォーム指定項目(0~n) ※ ラベルではprnFormLinkItemは使用できません。
<b>prnAdjust_x</b>	横方向印刷位置微調整値(0.1mm単位) 正の値 右方向に移動します。 負の値 左方向に移動します。
<b>prnAdjust_y</b>	縦方向印刷位置微調整値(0.1mm単位) 正の値 下方向に移動します。 負の値 上方向に移動します。
<b>prnLabelSL</b>	ラベルスタート位置(1~n枚目)
<b>prnReserved2</b>	予約済み。次の倍率を指定する場合prnReserved2=&h1000としてください。
<b>prnMag</b>	印刷倍率指定。印刷倍率を10~400(%)で指定します。
<b>PrnReserved3</b>	予約済み

### <<< prnFormCheck = -1を指定した時の印刷中止方法 >>>

宣言WIN32APIに記述されています。

```
Declare Function FindWindow Lib "user32" Alias "FindWindowA" (ByVal lpClassName As String, ByVal lpWindowName As String) As Long
```

```
Declare Function PostMessage Lib "user32" Alias "PostMessageA" (ByVal hWnd As Long, ByVal wParam As Long, ByVal lParam As Long) As Long
```

コード

```
Sub Command1_Click()
    'Windows 32APIにNULLを渡す時には、vbNullStringを使用します。
    hWnd% = FindWindow(vbNullString, "JBCC PrintPro 印刷中")
    If hWnd% > 0 Then
        nRet% = PostMessage(hWnd%, &H111, 2, 0)
    End If
End Sub
```

## 2. 4 DLL関数

### DLL関数一覧

FormPrintOut	フォーム印刷(印刷指定に印刷情報構造体を使用します。)
FormPrintOutA	フォーム印刷(印刷指定に印刷情報構造体を使用しません。)
PrintProControlEx	フォーム印刷
CloseMultiForm	マルチフォーム印刷の終了
GetAdjust	印刷微調整値の取得
GetDefInfo	データ定義内容の取得
GetFieldList	データ定義項目内容の取得
GetFormList	フォーム名称、コードの取得
GetFormNo	フォーム番号の取得
GetFormSpec	フォームの詳細情報の取得
GetPrinter32	プリンタ情報の取得
OpenFormEdit	本製品 の起動
OpentMultiForm	マルチフォーム印刷の開始
PreViewForm	プレビュー表示
PrintProPreView	プレビュー表示2
PrinterSetup	プリンタの設定、プリンタ情報の取得
PrintTitleSet	印刷中ダイアログボックスのタイトル指定
SetAdjust	印刷微調整値の設定
SetFormOffset	印刷微調整値の設定(ダイアログボックス)
SetFormPrinter	プリンタ設定(ダイアログボックス)
SetPrinter32	プリンタ情報の設定

### FormPrintOut

```
Declare Function FormPrintOut Lib "formpr32.dll" (
    ByVal hWnd As Long,
    ByVal lpPrintData As String,
    lpPrintInfoData As PRINTINFODATA
) As Integer
```

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの、指定フォームを印刷します。	
<b>パラメータ</b>	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpPrintData	印刷データ文字列印刷データの形式のアドレス ※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。
	lpPrintinfoData	PRINTINFODATA構造体へのアドレス
<b>戻り値</b>	0以上	正常終了しました。実際に印刷されたレコード数(取消ボタンをクリックした時も含む)
	-1	他のプログラムが使用中です。
	-2	印刷情報構造体に誤りがあります。
	-3	データ定義の指定に誤りがあります。
	-4	リソースが作成できません。



-5	プリンタがオープンできません。
-6	DLLがロードできません。
-9	メモリが足りません。
-10	マルチフォーム印刷中に中止ボタンが押されました。
<b>※ 印刷が取消(中止)された場合、印刷が完了したレコード数が返ります。</b>	

● FormPrintOutから戻るとPRINTINFODATA構造体のprnReserved2に次の値が返ります。

- 1) 正常終了 = 0
- 2) 中止ボタンにより中止 = 16
- 3) エラー(キャンセルを含む) = 32
- 4) イメージ印刷時メモリエラー = 1
- 5) イメージファイルエラー = 2

同時に発生した場合、ビットORとなります。ただし2)、3)はどちらか一方しかセットされません。

## FormPrintOutA

Declare Function FormPrintOutA Lib "formpr32.dll" (

ByVal hWnd As Long,  
 ByVal lpPrintData As String,  
 ByVal prnPrintMode As Integer,  
 ByVal prnGroupName As String,  
 ByVal prnNumPage As Integer,  
 ByVal prnNumRec As Integer,  
 ByVal prnKey As Integer,  
 ByVal prnDefPrinter As Integer,  
 ByVal prnSelectForm As Integer,  
 ByVal prnFormCheck As Integer,  
 ByVal prnFormSetMode As Integer,  
 ByVal prnFormLinkItem As Integer,  
 ByVal prnAdjust\_x As Integer,  
 ByVal prnAdjust\_y As Integer,  
 ByVal prnLabelSL As Integer,  
 ByVal prnReserved1 As Integer,  
 ByVal prnReserved2 As Integer,  
 ByVal prnReserved3 As Integer

) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームを印刷します。印刷指定に印刷情報構造体を使用しません。	
<b>パラメータ</b>	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpPrintData	印刷データ文字列印刷データの形式のアドレス <b>※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。</b>
	prnPrintMode	PRINTINFODATA構造体と同じ内容を指定します。 .
	prnLabelSL	ラベルフォームの開始ラベル番号。
	prnReserved1	予約済み。使用できません。0を指定してください。
	prnReserved2	予約済み。使用できません。0を指定してください。
	prnReserved3	予約済み。使用できません。0を指定してください。
<b>戻り値</b>	0以上	正常終了しました。実際に印刷されたレコード数(取消ボタンをクリックした時も含む)
	-1	他のプログラムが使用中です。
	-2	印刷情報構造体に誤りがあります。

-3	データ定義の指定に誤りがあります。
-4	リソースが作成できません。
-5	プリンタがオープンできません。
-6	DLLがロードできません。
-9	メモリが足りません。
-10	マルチフォーム印刷中に中止ボタンが押されました。
<b>※ 印刷が取消(中止)された場合、印刷が完了したレコード数が返ります。</b>	

● FormPrintOutAから戻るとPRINTINFODATA構造体のprnReserved2に次の値が返ります。

- 1) 正常終了 = 0
- 2) 中止ボタンにより中止 = 16
- 3) エラー(キャンセルを含む) = 32
- 4) イメージ印刷時メモリエラー = 1
- 5) イメージファイルエラー = 2

同時に発生した場合、ビット OR となります。ただし2)、3)はどちらか一方しかセットされません。


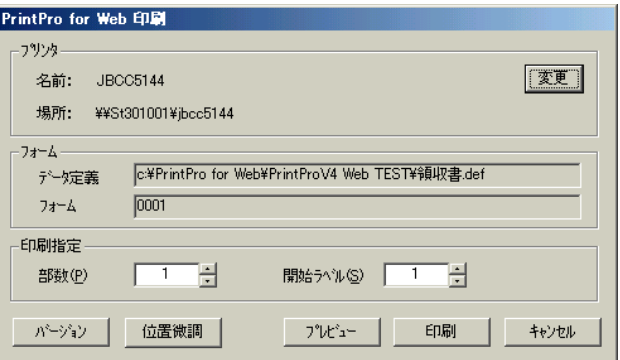
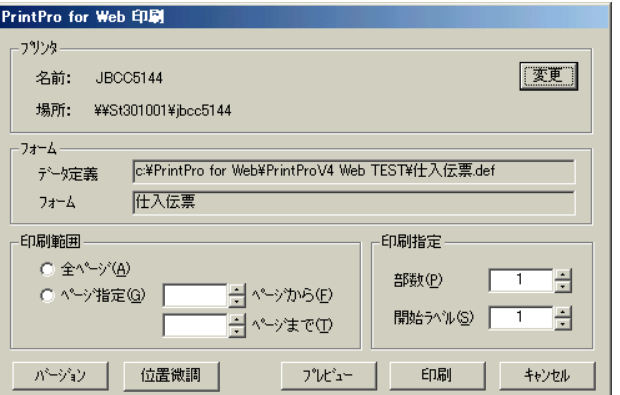
## PrintProControlEx

Declare Function PrintProControlEx Lib "formpr32.dll" (

ByVal hWnd As Long,  
 ByVal iMode As Integer,  
 ByVal lpDefName As String,  
 ByVal iDataType As Integer,  
 ByVal lpData As String,  
 ByVal lpTitle As String,  
 ByVal lpServerDefFolder As String,  
 ByVal iSelectForm As Integer,  
 ByVal iDefPrinter As Integer,  
 ByVal iFormCheck As Integer,  
 ByVal iFormLinkItem As Integer,  
 ByVal iFormSetMode As Integer,  
 ByVal iKeyBreak As Integer,  
 ByVal iAdjustX As Integer,  
 ByVal iAdjustY As Integer,  
 ByVal iStartPage As Integer,  
 ByVal iEndPage As Integer,  
 ByVal iMagnification As Integer,  
 ByVal iNumPage As Integer,  
 ByVal iStartLabel As Integer,  
 ByVal iPreviewMode As Integer,  
 ByVal iReserved1 As Integer,  
 ByVal iReserved2 As Integer,  
 ByVal iReserved3 As Integer,  
 ByVal lpReservedsz1 As String,  
 ByVal lpReservedsz2 As String,  
 ByVal lpReservedsz3 As String

) As Integer

<b>説明</b>	パラメータに従って、印刷、プレビューを行います。	
<b>パラメータ</b>	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	iMode	関数の実行モードを指定します。
		0
	1	プレビューダイアログボックスを表示します。

			
2		2	<p>設定ダイアログボックスを表示します。印刷後、終了します。</p> 
3 / 4		3 / 4	<p>設定ダイアログボックスを表示します。3を指定した場合、印刷後に終了します。4を指定した場合、【閉じる】ボタンを押すと終了します。</p> 
5 / 6 / 7		5 / 6 / 7	<p>プレビューダイアログボックスを表示します。【印刷】ボタンを押すと、設定ダイアログボックスが表示されます。5/6/7は、2/3/4に対応しています。</p>
10		10	<p>プリンタ設定ダイアログボックスを表示します。【OK】ボタンを押すと、設定がデータ定義ファイルに保存されます。</p> <p>※ iMode,lpDefName,iSelectForm以外のパラメータは使用されません。</p>
11		11	<p>位置微調整ダイアログボックスを表示します。【OK】ボタンを押すと、設定がデータ定義ファイルに保存されます。</p> <p>※ iMode,lpDefName,iSelectForm以外のパラメータは使用されません。</p>
lpDefName			データ定義ファイル名をフルパスで指定します。
iDataType			印刷データの形式を指定します。

		0	下記の「lpData」で指定されるデータを使用します。 このデータの書式は『Shift-JIS』『TAB区切り』『タイトル行なし』でなくてはなりません。
		10	下記の「lpData」で指定されるデータファイルをデータとして使用します。 このデータファイルの書式は『Shift-JIS』『TAB区切り』『タイトル行なし』でなくてはなりません。
		11	下記の「lpData」で指定されるデータファイルをデータとして使用します。 このデータファイルの書式は『Shift-JIS』『CSV』『タイトル行なし』でなくてはなりません。
		16	下記の「lpData」で指定されるデータファイルをデータとして使用します。 このデータファイルの書式は『Shift-JIS』『CSV』『タイトル行あり』でなくてはなりません。
lpData	iDataTypeで指定する値に合わせて、印刷データ、または、印刷に使用するデータファイルを指定します。 <b>※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。</b>		
	0の場合	TAB区切り形式の文字列変数を指定します。	
	0以上の場合	使用するデータファイル名をフルパスで指定します。	
lpTitle	タイトルを指定します。31文字以内でなくてはなりません。		
lpServerDefFolder	<p>データ定義ファイルが保存されているフォルダを指定します。データ定義ファイルの自動更新機能で使用します。lpServerdeffolderでサーバーの「データ定義ファイル」格納フォルダが指定されている場合、データ定義ファイルの自動更新を行います。lpServerDefFolderが指定されていない(NULLまたは文字数0)の場合、この機能は動作しません。</p> <p>①lpServerdefnameで指定されたデータ定義ファイルが存在しない場合 lpServerdeffolderからlpDefNameで指定された「データ定義ファイル」をコピーします。</p> <p>②lpServerdefnameで指定されたデータ定義ファイルが存在する場合 lpServerdeffolderにあるlpDefNameで指定された「データ定義ファイル」とIDを照合し、異なる場合のみdeffolderから「データ定義ファイル」をコピーします。この場合同一名称のフォームのプリンタ設定、印刷位置微調整値は上書きされず元の設定が残ります。 ID確認は、サーバーフォルダにlpDefNameと同名の「.cnt」ファイルが存在する場合、「.cnt」ファイルの内容により行われます。「.cnt」ファイルが存在しない場合、「データ定義ファイル」ファイル内のID情報が直接比較されます。</p>		
iSelectForm	印刷に使用するフォームの番号を指定します。データ定義ファイル内の1つめのフォームを0としてカウントしていきます。(0 ~ フォーム数-1) <b>※ iFormSetModeで1が指定されている場合、この設定値は使用されません。</b>		
iDefPrinter	印刷に使用するプリンタを指定します。		
	0	通常使うプリンタを使用します。	
	1	フォームで指定されたプリンタを使用します。	

		2	iSelectFormで指定されているフォームで指定されたプリンタを使用します。プリンタの切り替えは行いません。(iFromSetModeで1が指定された時に使用するプリンタを固定します。)
		3	iSelectFormで指定されているフォームで指定されたプリンタを使用します。プリンタの切り替えは行いません。1スプールファイルで印刷します。
		4、5、6	プリンタプロパティの設定を行います。(動作は、iDefPrinter=1,2,3を指定した時と同様です。) 「その他のプリンタ」を選択すると、「プロパティ」ボタンが表示され、プリンタプロパティの設定が行えます。設定内容は保存され、印刷時にこの設定が使用されます。プリンタを変更した場合、保存されている設定内容は破棄され、再度設定を保存されるか、プリンタが保存時に戻るまで使用されません。プロパティで変更した設定内容はファイルとして保存されます。ファイル名は「データ定義ファイル名 + フォーム番号(0詰めの4桁の値).prn」となります。 <b>例)データ定義ファイル名が「Sample.def」でフォーム番号が5の場合</b> Sample0005.prn
iFormCheck	印刷前に、印刷するフォームを確認するかどうか、また、確認をするタイミングの指定をします。		
	0	確認を行いません。	
	1	確認を行います。印刷時に、フォーム毎に確認を行います。	
	2	確認を行います。印刷前に、フォームが変更された場合に確認を行います。	
	-1	確認を行いません。印刷中はダイアログを表示しません。	
iFormLinkItem	自動フォーム選択を行うための判定に使用する項目の番号を指定します。iFormSetModeで1が指定されている場合にのみ使用可能です。データ定義ファイル内の1つ目の項目を0としてカウントしていきます。		
iFormSetMode	フォームの自動切換えについて指定します。		
	0	自動切り替えを行いません。	
	1	データの内容により、するフォームの自動切り替えを行います。iFormLinkItemで指定された項目のデータの内容が、本製品で、フォーム保管時に指定できるコードの内容と一致するフォームが選択されます。	
	2	1ページ目はiSelectFormで指定されたフォームを使用し、2ページ目以降はiSelectForm+1のフォームを使用します。改ページ指定により改ページが行われると、1ページ目に 戻ります。連番は、改ページ指定による改ページ後は1に戻ります。	
	3	1ページ目はiSelectFormで指定されたフォームを使用し、2ページ目以降は、iSelectForm+1のフォームを使用します。改ページ指定により改ページが行われると、1ページ目に戻ります。連番は、改ページ指定による改ページ後も継続します。	
	11	iFormSetModeで1が指定された時と同じ動作を行いますが、フォームが見つからない場合は、iSelectFormで指定されたフォームを使用します。	
iKeyBreak	改ページのタイミングについて指定します。		

		0	改ページ処理を行いません。明細行数を超えると改ページが行なわれます。
		-1	1レコードを1ページに印刷します。
		1～項目数	指定項目(1～)の内容が前のレコードの内容と不一致になると、改ページが行われます。 データ定義ファイル内の1つ目の項目を1としてカウントしていきます。
iAdjustX	横方向の印刷位置微調整値を設定します。 -999～999(0.1mm単位)の範囲で設定可能です。		
iAdjustY	縦方向の印刷位置微調整値を設定します。 -999～999(0.1mm単位)の範囲で設定可能です。		
iStartPage	印刷開始ページを指定します。0を指定すると、全ページが印刷対象となります。 iMode=0の時のみ、使用することができます。		
iEndPage	印刷終了ページを指定します。iStartPageで指定された値以上の値を指定しなくてはなりません。 iMode=0の時のみ、使用することができます。		
iMagnification	印刷倍率を設定します。10～400%の範囲で設定可能です。		
iNumPage	印刷部数を設定します。1以上の値を指定してください。		
iStartLabel	ラベルフォームの場合に使用されます。ページ内のラベルの印刷開始位置を指定します。左上のラベルを1として、左から右、上から下にカウントします。		
iPreviewMode	プレビュー表示時の動作を指定します。下記の数値の組合せにより、二桁の値で指定します。		
	一の桁 印刷ボタンの表示、表示する場合の機能について指定します。		
	0	印刷ボタンを表示しません。	
	1	印刷ボタンを表示します。ボタンを押すと、プレビュー表示されているページのみを印刷します。	
	2	印刷ボタンを表示します。ボタンを押すと、全ページを印刷します。	
	十の桁 デフォルトのプレビュー表示の倍率を指定します。		
	0	全体表示します。	
	1	全体表示します。	
	2	横固定表示します。	
	3	縦固定表示します。	
	4	50%の倍率で表示します。	
	5	75%の倍率で表示します。	
	6	100%の倍率で表示します。	
	7	125%の倍率で表示します。	
8	150%の倍率で表示します。		
<b>例)プレビューを50%の倍率で表示し、ボタンを押すと全ページ印刷する</b> iPreviewMode = 42;			
iReservedi1	予約済み。使用できません。0を指定してください。		
iReservedi2	予約済み。使用できません。0を指定してください。		
iReservedi3	予約済み。使用できません。0を指定してください。		
lpReservedsz1	予約済み。使用できません。空文字列を指定してください。		
lpReservedsz2	予約済み。使用できません。空文字列を指定してください。		
<b>戻り値</b>	戻り値には、iModeで指定された値によって異なる意味を持つ値と、iModeで指定された値		

に関わらず共通で同じ意味を持つ値があります。		
共通	-100	JBCCCABC.GLLがロードできません。
	-103	データ定義ファイル名指定でエラーが発生しました。(ファイルの拡張子が「def」ではないなど。)
iMode=0/1 /2/3/4/5/6/7	0以上	正常終了しました。印刷されたレコード数が返ります。
	-1	他のプログラムが使用中です。
	-2	印刷情報構造体に誤りがあります。
	-3	データ定義ファイルの指定に誤りがあります。
	-4	リソースが作成できません。
	-5	プリンタがオープンできません。
	-6	DLLがロードできません。
	-9	メモリが足りません。
	-10	マルチフォーム印刷中に中止ボタンが押されました。
	-100	JBCCCABC.DLLがロードできません。
	-101	PPFWGZIP.DLLがロードできません。
-102	データ解凍エラーが発生しました。	
iMode=10/11	0	正常終了しました。
	-1	失敗しました。

### CloseMultiForm

Declare Function CloseMultiForm Lib "formpr32.dll" (  
) As Integer

<b>説明</b>	マルチフォームを終了しフォームを印刷します。
<b>パラメータ</b>	なし
<b>戻り値</b>	0 正常終了しました。

### GetAdjust

Declare Function GetAdjust Lib "formpr32.dll" (  
 ByVal lpDefName As String,  
 ByVal FormNo As Integer,  
 lpAdjustInfo As ADJUSTINFO  
 ) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームの印刷微調整値を取得します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
	lpAdjustinfo	ADJUSTINFO構造体へのアドレス
<b>戻り値</b>	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	使用中しました。

### GetDefInfo

Declare Function GetDefInfo Lib "formpr32.dll" (  
 ByVal lpDefName As String,  
 lpDef As DEFINFO  
 ) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルのデータ定義項目数、登録済みフォーム数を返します。
<b>パラメータ</b>	lpDefName データ定義ファイル名(フルパスで指定)

		※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpDef	DEFINFO構造体へのアドレス
戻り値	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

### GetFieldList

Declare Function GetFieldList Lib "formpr32.dll" (

ByVal lpDefName As String,

lpField As FIELDLIST,

ByVal fldNo As Integer

) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの、指定データ定義項目の内容を返します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpField	FIELDLIST構造体へのアドレス
	fldNo	データ定義の項目番号(0~n)
戻り値	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

### GetFormList

Declare Function GetFormList Lib "formpr32.dll" (

ByVal lpDefName As String,

lpForm As FORMLIST,

ByVal formNo As Integer

) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームの名称、コードを返します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpForm	FORMLIST構造体へのアドレス
	formNo	フォーム番号(0~n)
戻り値	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

### GetFormNo

Declare Function GetFormNo Lib "formpr32.dll" (

ByVal lpDefName As String,

ByVal lpCode As String

) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定コードに対応するフォームの番号を返します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpCode	コード文字列へのアドレス
戻り値	0 ~ n	フォーム番号しました。
	-1	失敗(指定コードに対応するフォームがありません) しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。



## GetFormSpec

```
Declare Function GetFormSpec Lib "formpr32.dll" (  
    ByVal lpDefName As String,  
    ByVal FormNo As Integer,  
    lpFormSpec As FORMSPEC  
) As Integer
```

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームの詳細情報を返します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	FormNo	フォーム番号(0~n)
	lpFormSpec	FORMSPEC構造体へのアドレス
<b>戻り値</b>	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

## GetPrinter32

```
Declare Function GetPrinter32 Lib "formpr32.dll" (  
    ByVal lpDefName As String,  
    ByVal FormNo As Integer,  
    lpPrintEnv As PRINTENV  
) As Integer
```

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームのプリンタ情報を取得します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
	lpPrintEnv	PRINTENV構造体へのアドレス
<b>戻り値</b>	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

## OpenFormEdit

```
Declare Function OpenFormEdit Lib "formpr32.dll" (  
    ByVal lpDefName As String,  
    ByVal FormNo As Integer  
) As Integer
```

<b>説明</b>	本製品(Fmedit32.exe)が起動していない場合、本製品 を起動し、指定フォームをオープンします。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	FormNo	フォーム番号(0~n) ※ FormNo=-1を指定すると、新規フォームの追加となります。
<b>戻り値</b>	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。

## OpenMultiForm

```
Declare Function OpenMultiForm Lib "formpr32.dll" (  
) As Integer
```

説明	マルチフォームを開始します。(複数のフォームを1ページに印刷します。)
パラメータ	なし
戻り値	0 正常終了しました。

### <制限事項>

1. 複数のページに渡るデータが指定された場合、最初のページのみ印刷されます。
2. プリンタの指定は、最初に印刷するフォームの指定が使用されます。
3. 自動フォーム選択機能は使用できません。フォーム番号を指定してください。

### <処理手順>

Global p As PRINTINFODATA

‘印刷情報構造体

‘複数フォーム印刷の開始

rc% = OpenMultiForm

‘----- 1枚目の印刷

p.prnGroupName = "XXX.DEF" + Chr\$(0) ‘データ定義名

p.prnSelectForm = 0 ‘フォーム指定

rc% = FormPrintOut(hWnd、 PrintData、 p)

‘----- 2枚目の印刷

p.prnGroupName = "YYY.DEF" + Chr\$(0) ‘データ定義名

p.prnSelectForm = 3 ‘フォーム指定

p.prnGroupName = "請求サンブ.DEF" + Chr\$(0)

rc% = FormPrintOut(hWnd、 PrintData、 p)

‘複数フォーム印刷の終了

rc% = CloseMultiForm

### PreViewForm

Declare Function PreViewForm Lib "formpr32.dll" (

ByVal hWnd As Long,

ByVal lpPrintData As String,

lpPrintInfoData As PRINTINFODATA,

ByVal hDC As Long,

lpPreviewInfo As REVIEWINFO

) As Integer

説明	指定データ定義ファイルの、指定フォームをプレビュー表示します。この関数は、指定されたデバイスコンテキストに描画を行います。	
パラメータ	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpPrintData	印刷データ文字列のアドレス ※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。
	lpPrintInfoData	PRINTINFODATA構造体へのアドレス
	hDC	プレビューを行うウィンドウのデバイスコンテキスト
	lpPreviewInfo	PREVIEWINFO構造体へのアドレス
戻り値	0以上	正常終了しました。
	-1	他のプログラムが使用中です。
	-2	印刷情報構造体に誤りがあります。
	-3	データ定義の指定に誤りがあります。
	-4	リソースが作成できません。

-5	プリンタがオープンできません。
-6	DLLがロードできません。
-9	メモリが足りません。
<b>※ プレビュー用リソースの生成中は、上記エラーから10を引いた値が返ります。</b>	

## PrintProPreview

Declare Function PrintProPreview Lib "formpr32.dll" (

ByVal hWnd As Long,  
 ByVal lpPrintData As String,  
 lpPrintInfoData As PRINTINFODATA,  
 lpPreviewInfo As PREVIEWINFO2

) As Integer

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの、指定フォームをプレビュー表示します。プレビュー用のウィンドウはこの関数が作成します。	
<b>パラメータ</b>	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpPrintData	印刷データ文字列印刷データの形式のアドレス <b>※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。</b>
	lpPrintInfoData	PRINTINFODATA構造体へのアドレス
	lpPreviewInfo	PREVIEWINFO2構造体へのアドレス
<b>戻り値</b>	0以上	正常終了しました。
	-1	他のプログラムが使用中です。
	-2	印刷情報構造体に誤りがあります。
	-3	データ定義の指定に誤りがあります。
	-4	リソースが作成できません。
	-5	プリンタがオープンできません。
	-6	DLLがロードできません。
	-9	メモリが足りません。

## PrinterSetup

Declare Function PrinterSetup Lib "prnsup32.dll" (

ByVal hWnd As Long,  
 lpPrintEnv As PRINTENV,  
 ByVal mode As Integer

) As Integer

<b>説明</b>	使用プリンタの設定を行います。また、設定内容をPRINTENV構造体にコピーします。		
<b>パラメータ</b>	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル	
	lpPrintEnv	PRINTENV構造体のアドレス	
	mode	モード	
		0	通常使うプリンタに設定されているプリンタのプリンタ名、用紙サイズ、給紙方法、用紙方向をPRINTENV構造体にコピーします。
1		通常使うプリンタに設定されているプリンタのプリンタ名を、PRINTENV構造体にコピーします。	
<b>戻り値</b>	0	正常終了(取消)しました。	
	1	正常終了(確認)しました。	
	3	プリンタダイアログボックスを表示し、使用プリンタ(通常使うプリンタ、またはその他のプリンタ)、指定プリンタのプリンタ名、用紙サイズ、給紙方法、用紙方向をPRINTENV構造体にコピーします。	

	-1	プリンタリストが読み込めません。
	-2	現在のプリンタがオープンできません。
	-3	現在のプリンタの設定が読み込めません。
	-4	モードが0~3ではありません。
	-5	このDLLは使用中です。

## PrintTitleSet

```
Declare Function PrintTitleSet Lib "formpr32.dll" (
    ByVal lpTitle As String
) As Integer
```

<b>説明</b>	PrintPro 印刷中ダイアログボックスのタイトル、印刷ジョブ名を指定します。	
<b>パラメータ</b>	lpTitle	タイトルに表示する文字列のアドレス(31文字以内) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
<b>戻り値</b>	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。

## SetAdjust

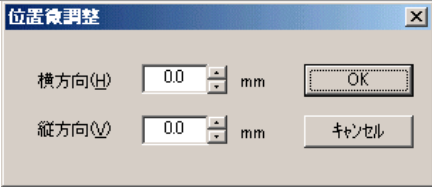
```
Declare Function SetAdjust Lib "formpr32.dll" (
    ByVal lpDefName As String,
    ByVal FormNo As Integer,
    lpAdjustInfo As ADJUSTINFO,
    ByVal mode As Integer
) As Integer
```

<b>説明</b>	指定データ定義ファイルの指定フォームの印刷微調整値を設定します。	
<b>パラメータ</b>	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
	lpAdjustinfo	ADJUSTINFO構造体へのアドレス
	mode	設定モード
	1	全体を変更
	2	フォームを変更
	3	全体、フォームを変更
<b>戻り値</b>	0	正常終了しました。
	-1	失敗しました。
	-3	他のプログラムが使用中です。

## SetFormOffset

```
Declare Function SetFormOffset Lib "formpr32.dll" (
    ByVal hWnd As Long,
    ByVal lpDefName As String,
    ByVal FormNo As Integer
) As Integer
```

<b>説明</b>	<p>指定データ定義ファイルの指定フォームの印刷微調整値の設定を行います。          ≪位置微調整≫ダイアログボックスが表示されます。横方向、縦方向の調整値を入力します。正の値は、印刷位置を右(横方向)または下(縦方向)へ移動します。負の値は、印刷位置を左(横方向)または上(縦方向)に移動します。</p> <p style="text-align: center;"><b>≪位置微調整≫ダイアログボックス</b></p>
-----------	--

		
パラメータ	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
戻り値	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。

### SetFormPrinter

```
Declare Function SetFormPrinter Lib "formpr32.dll" (
    ByVal hWnd As Long,
    ByVal lpDefName As String,
    ByVal FormNo As Integer
) As Integer
```

説明	指定データ定義ファイルの指定フォームのプリンタ設定を行います。	
パラメータ	hWnd	呼び出し元のウィンドウのハンドル
	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
戻り値	0	失敗しました。
	1	正常終了しました。

### SetPrinter32

```
Declare Function SetPrinter32 Lib "formpr32.dll" (
    ByVal lpDefName As String,
    ByVal FormNo As Integer,
    lpPrintEnv As PRINTENV
) As Integer
```

説明	指定データ定義ファイルの指定フォームのプリンタ情報を設定します。 ※ 本製品 起動中は、プリンタ情報を設定できません。	
パラメータ	lpDefName	データ定義ファイル名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。
	lpFormNo	フォーム番号(0~n)
	lpPrintEnv	PRINTENV構造体へのアドレス
戻り値	0	正常終了しました。
	-1	失敗しました。
	-2	本製品が起動中です。
	-3	他のプログラムが使用中です。

## 第3章 Visual Basicによる印刷

### 3. 1 DLLによる印刷

Visual Basicのプログラムから、PrintProの印刷DLL(ダイナミックライブラリ)、PrintPro for Designer ActiveXコントロールを使用して、本製品 により作成されたフォームに、Visual Basicのデータを重ねて印刷することができます。

**※ Microsoft Visual BasicからPrintProの印刷DLL、PrintPro for Designer ActiveXコントロールを使用するには、Microsoft Visual Basic Ver4.0 32ビット以上が必要です。**

#### 3. 1. 1 宣言の仕方

Visual Basicにより新規コードモジュールを作成して、その中にPrintProの構造体定義、DLL使用宣言、グローバル変数宣言を記述します。

**例)簡単な宣言の方法** (Visual Basic 5.0/6.0の場合)

1. 【プロジェクト(P)】メニューの【標準モジュールの追加(M)】をクリックし、《標準モジュールの追加》ダイアログボックスの《既存ファイル》タブをクリックします。
2. 本製品 をインストールしたフォルダの中から、『Sample』→『VB』→『Dll』の順番でフォルダを開き、『Vb32.txt』を選択して【開く(O)】をクリックします。(《標準モジュールの追加》の【ファイルの種類(T)】がすべてのファイルになっていない場合は、表示されません。)
3. 以上で、宣言が完了します。

**※ Vb32.txtには、PrintProのDLLを使用するのに必要な定義、宣言がすべて入っています。**

### 3. 1. 2 印刷の仕方

PrintProのFORMPR32.dllのFormPrintOut関数を呼び出すことにより、指定データ定義ファイルの指定フォームに、印刷させることができます。

hWnd	‘呼び出し元のウィンドウハンドル
PrintData	‘印刷データ
p	‘印刷情報構造体

rc% = FormPrintOut (hWnd, PrintData, p)

FormPrintOut関数を実行すると、次のような戻り値が返ります。

戻り値	説明
=> 0	正常終了、実際に印刷されたレコード数。
= -1	他のプログラムが使用中です。
= -2	印刷情報構造体に誤りがあります。
= -3	データ定義の指定に誤りがあります。
= -4	リソースが作成できません。
= -5	プリンタがオープンできません。
= -6	DLLがロードできません。
= -9	メモリが足りません。
= -10	マルチフォーム印刷中に中止ボタンが押されました。

※ FormPrintOutAを使用し、印刷情報構造体を使用しないで印刷させることもできます。

### 3. 1. 3 印刷データの形式

印刷データは、次のような形式の文字列として作成し、FormPrintOut関数には、文字列のアドレスを渡します。

#### 例) 項目数4、レコード数2の場合

FD11\$:1レコード目・項目1のデータ(文字列)  
FD12\$:1レコード目・項目2のデータ(文字列)  
FD13\$:1レコード目・項目3のデータ(文字列)  
FD14\$:1レコード目・項目4のデータ(文字列、複行項目)  
FD21\$:2レコード目・項目1のデータ(文字列)  
FD22\$:2レコード目・項目2のデータ(文字列)  
FD23\$:2レコード目・項目3のデータ(文字列)  
FD24\$:2レコード目・項目4のデータ(文字列、複行項目)

TAB = Chr\$(9)	‘項目データの区切り
RE = Chr\$(13) + Chr\$(10)	‘レコードの区切り
LL = Chr\$(0)	‘印刷文字列の終わり
STX = Chr\$(2)	‘複行項目データの始まり

印刷文字列 = FD11\$ + TAB + FD12\$ + TAB + FD13\$ + TAB + STX + FD14\$ + TAB + RE + D21\$ + TAB +  
FD22\$ + TAB + FD23\$ + TAB + STX + FD24\$ + TAB + RE + NULL



- ※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。
- ※ 文字列の最後には、NULL(Chr\$(0))を付加してください。
- ※ 複行項目データの始まりには、STX(Chr\$(2))を付加してください。
- ※ 複行項目データ(STXで始まり、TABで終わり)には、改行コード(Chr\$(13)+Chr\$(10))を含めることができません。
- ※ 項目データには、TAB(Chr\$(9))を含めることはできません。

◎データはすべて文字列とします。数値データは文字列に変換してから使用してください。

◎項目1のデータは、フォーム登録時にデータ定義【項目番号1】を配置した場所に、項目2のデータはデータ定義【項目番号2】を配置した場所に印刷されます。

### 3. 1. 4 印刷情報構造体の指定

FormPrintOut関数は、PRINTINFODATA(印刷情報構造体)の指示に従って、印刷データをフォームに印刷します。

Type PRINTINFODATA

prnPrintMode As Integer	‘印刷モード
prnGroupName As String * 260	‘データ定義名
prnNumPage As Integer	‘印刷部数
prnNumRec As Integer	‘印刷レコード数
prnKey As Integer	‘改ページ指定項目番号
prnDefPrinter As Integer	‘プリンタ指定
prnSelectForm As Integer	‘印刷フォーム番号
prnFormCheck As Integer	‘印刷前のフォーム確認
prnFormSetMode As Integer	‘自動フォーム選択の有無
prnFormLinkItem As Integer	‘自動フォーム指定項目番号
prnAdjust_x As Integer	‘横方向印刷位置微調整値
prnAdjust_y As Integer	‘縦方向印刷位置微調整値
prnLabelSL As Integer	‘ラベルフォームの開始ラベル番号
prnReserved2 As Integer	‘予約済み(&h1000固定)
prnMag As Integer	‘倍率 10-400
prnReserved3 As String * 12	‘予約済み

End Type

<b>prnPrintMode</b>	印刷モード	
	0	通常印刷
	1	テスト印刷
<b>prnGroupName[n]</b>	データ定義名(フルパスで指定) ※ 文字列の最後には0(chr\$(0))を付加してください。	
<b>PrnNumPage</b>	印刷部数(1~n)	
<b>prnNumRec</b>	印刷レコード数(1~n)	
<b>prnKey</b>	改ページ指定項目(-1、0、1~n)	
	0	1レコードを1ページに印刷します。
	-1	改ページ処理を行いません。明細行数を超えると改ページを行います。
<b>prnDefPrinter</b>	プリンタ指定	
	0	通常使うプリンタを使用します。
	1	フォーム指定のプリンタ、および設定を使用します。
<b>prnSelectForm</b>	印刷フォーム番号(0~)	
<b>prnFormCheck</b>	印刷前のフォーム確認の有無	
	0	確認を行いません。
	1	フォーム毎に確認を行います。
	2	フォーム変更時に確認を行います。
	-1	印刷中ダイアログボックスを表示しません。
<b>prnFormSetMode</b>	自動フォーム選択の有無	
	0	自動切り替えを行いません。
	1	自動切り替えを行います。
<b>prnFormLinkItem</b>	自動フォーム指定項目(0~n) ※ ラベルではprnFormLinkItemは使用できません。	
<b>prnAdjust_x</b>	横方向印刷位置微調整値(0.1mm単位)	
	正の値	右方向に移動します。
	負の値	左方向に移動します。

<b>prnAdjust_y</b>	縦方向印刷位置微調整値(0.1mm単位)	
	正の値	下方向に移動します。
	負の値	上方向に移動します。
<b>prnLabelSL</b>	ラベルスタート位置(1～n枚目)	
<b>prnReserved2</b>	予約済み。次の倍率を指定する場合prnReserved2=&h1000としてください。	
<b>prnMag</b>	印刷倍率指定。印刷倍率を10～400(%)で指定します。	
<b>PrnReserved3</b>	予約済み	

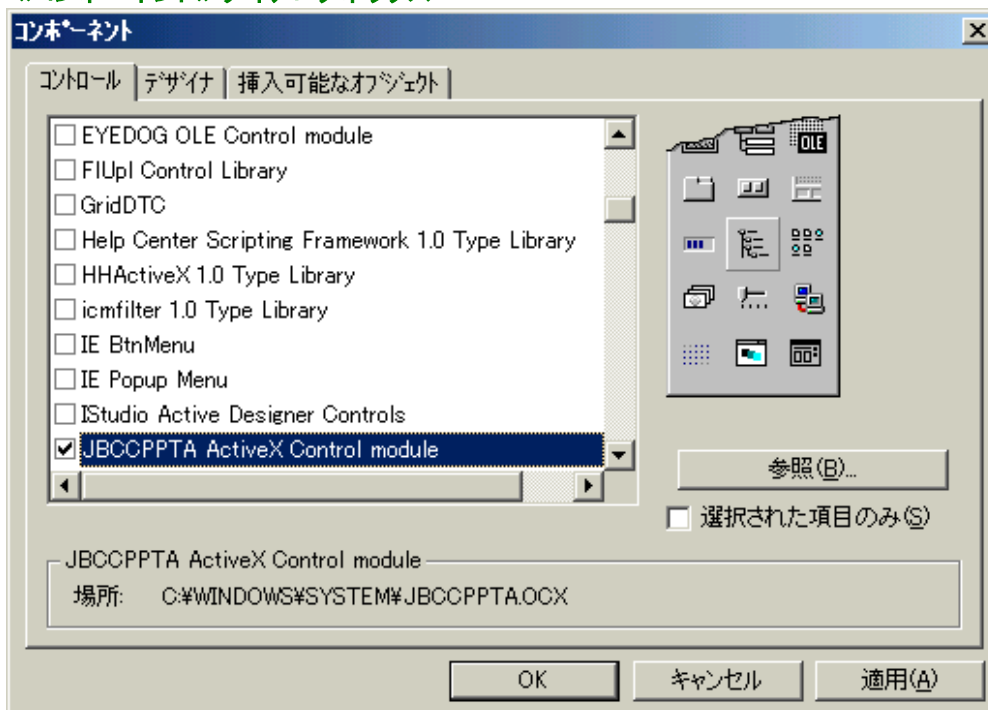
## 3. 2 ActiveXコントロールによる印刷

### 3. 2. 1 ActiveXコントロールを登録する

ActiveXコントロールを登録する手順をVisual Basic 5.0の場合を例にあげて説明します。その他の開発環境への組込方法については各環境のリファレンスマニュアルを参照してください。

1. 【プロジェクト(P)]メニューから【コンポーネント(O)]を選択します。
2. ≪コンポーネント≫ダイアログボックスの≪コントロール≫タブを選択し、<JBCCPPTA ActiveX Control module>をチェックし、【OK】をクリックします。

#### ≪コンポーネント≫ダイアログボックス

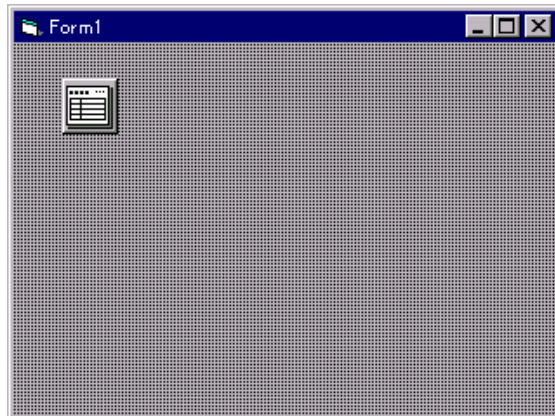


3. ツールボックスに PrintPro for Designer ActiveX コントロールの新しいアイコンが表示されます。



### 3. 2. 2 ActiveXコントロールをプロジェクトに組み込む

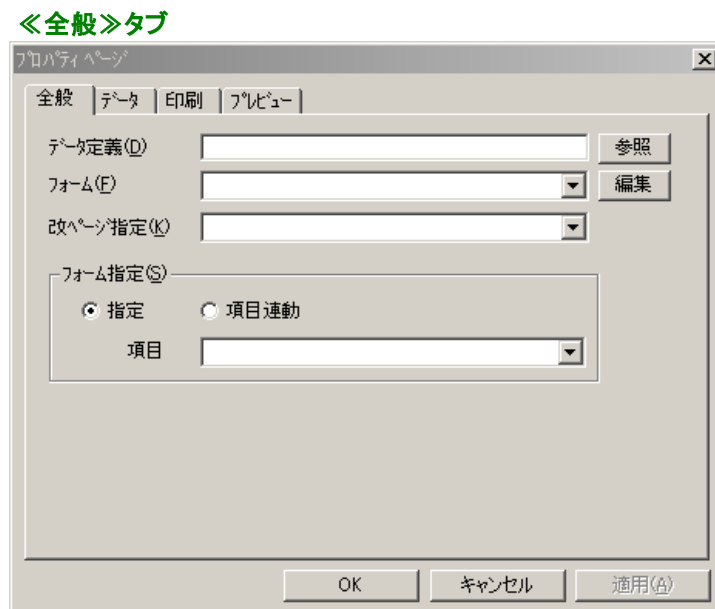
まず、Visual Basic により、プロジェクトを作成します。次に、PrintPro for Designer ActiveX コントロールをフォームに配置します。



PrintPro for Designer ActiveX コントロールは、サイズを変更することはできません。また、実行時は不可視となります。

### 3. 2. 3 ActiveXコントロールの設定

プロパティシートを開き、設定を行います。(PrintPro for Designer ActiveX コントロールを右クリックし、メニューより【プロパティ(P)】を選択します。)



#### 【データ定義(D)】

印刷に使用するデータ定義ファイルを指定します

#### <参照>

データ定義ファイルを選択します。クリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

## 【フォーム(F)】

印刷するフォームを選択します。

### <編集>

【フォーム(F)】で選択されているフォームを編集状態にします。

## 【改ページ指定(K)】

ハガキやラベルでは、1レコードが1枚のハガキやラベルに対応しますが、伝票のように明細行を持つものでは、複数のレコードを1枚の伝票に印刷します。この場合、どこでレコードを区切るかを指定する必要があります。PrintProでは、印刷データの改ページ指定された項目の内容が、前のレコードの内容と同じでない場合に、改ページを行います。『改ページなし』が選択されている場合には、明細行数を超えた場合に改ページが行われます。(明細行がない場合には、1レコードを1ページに印刷します。)'『毎レコード・改ページ』が選択されている場合には、1レコードを1ページに印刷します。

## 【フォーム指定(S)】

### <指定>

【フォーム(F)】で指定されているフォームに印刷します。

### <項目連動>

印刷データの指定された<項目>の内容により、印刷するフォームを自動的に選択します。【フォーム指定(S)】の<項目>で指定された項目の内容が、本製品で、フォーム保存時、または「フォーム名変更」ダイアログボックス(【ファイル(F)】メニューの【フォーム名変更(F)】)で指定するコードの内容と一致するフォームが選択されます。

※ 客先指定の納品書などのように、データの形式が同じで、フォームの種類が多い場合に、例えば、得意先コードを本製品のフォーム保存時の<コード>に指定し、項目で得意先コードを指定することにより、印刷データに従ってフォームを自動的に切り替えながら印刷することができます。

### 「データ」タブ

プロパティページ

全般 データ 印刷 プレビュー

データ形式(D) 文字列

ファイル名(F) 参照

OK キャンセル 適用(A)

### 【データ形式(D)】

印刷に使用するデータの形式を指定します。

- ・文字列
- ・ファイル(CSV)
- ・ファイル(CSV)/タイトル行なし
- ・ファイル(TAB)
- ・ファイル(TAB)/タイトル行なし

### 【ファイル名(F)】

データ形式がファイルの場合、データファイルを指定します。

#### 《印刷》タブ

プロパティページ

全般 | データ | 印刷 | プレビュー

フォーム確認(F)

なし    フォーム毎    フォーム変更時    非表示

使用プリンタ(P)

通常使うプリンタ    フォーム指定のプリンタ

位置微調整(A)

横方向  mm   縦方向  mm

印刷部数(N)    開始ラベル(L)

拡大/縮小(M)  %

OK   キャンセル   適用(A)

### 【フォーム確認(F)】

#### <なし>

印刷前にフォームの確認を行いません。

#### <フォーム毎>

印刷前にフォーム毎に確認を要求します。

#### <フォーム変更時>

印刷前にフォームが変更された時に確認を要求します。

#### <非表示>

印刷中に《PrintPro 印刷中》ダイアログボックスを表示しません。印刷前にフォームの確認も行いません。

#### 《PrintPro 印刷中》ダイアログボックス

PrintPro 印刷中

フォーム: 納品書

レコード: 1 / 6   部数: 1 / 1

印刷   中止

## 【使用プリンタ(P)】

### ＜通常使うプリンタ＞

Windows の「通常使うプリンタ」に指定されているプリンタと、設定を使用して印刷します。

### ＜フォーム指定のプリンタ＞

フォーム作成時の《ページ設定》ダイアログボックスのプリンタ指定の内容に従って、プリンタと、その設定が選択されます。

## 【位置微調整(A)】

正の値を入力すると、印刷位置を右(横方向)または下(縦方向)へ移動します。負の値を入力すると、印刷位置を左(横方向)または上(縦方向)に移動します。

## 【部数(N)】

印刷部数を指定します。

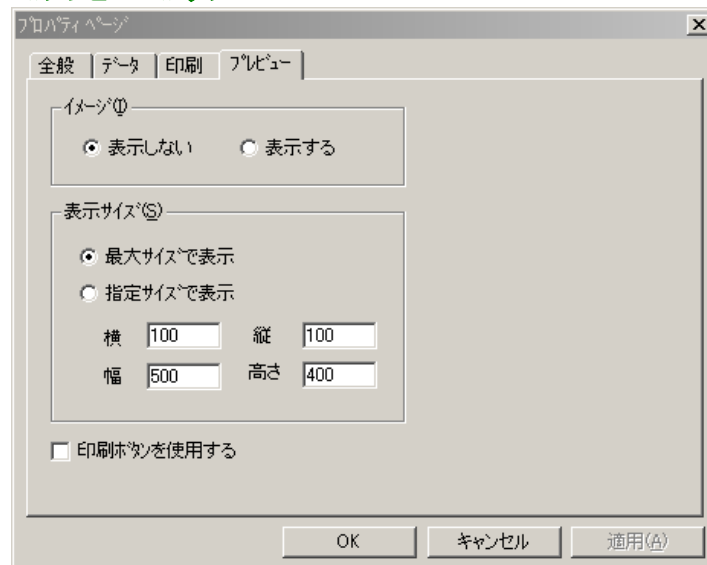
## 【開始ラベル(L)】

ラベルフォームの場合に、1 ページ内のどのラベルから、印刷を開始するかを指定します。左上のラベルを 1 として、左から右、上から下に数えます。

## 【拡大/縮小(M)】

印刷時の倍率を 10～400(%)で指定します。

### 《プレビュー》タブ



## 【イメージ(I)】

台紙イメージを表示するか、表示しないかを選択します。

## 【表示サイズ(S)】

### ＜最大サイズで表示＞

画面に最大サイズでプレビュー表示します。

### ＜指定サイズで表示＞

横(横方向表示原点)、縦(縦方向表示原点)、幅、高さで指定されたサイズでプレビュー表示します。(ドット単位)

## 【印刷ボタンを使用する】

プレビューウィンドウに【印刷】が表示され、プレビュー表示中のページを印刷することができます。



### 3. 2. 4 ActiveXコントロールによる印刷、プレビュー

フォームに印刷、プレビューそれぞれのボタンを配置し、次のコードを記述します。

#### <印刷>

```
JBCCPPTA1.PrintForm
```

#### <プレビュー>

```
JBCCPPTA1.PreviewForm
```

- ※ データタイプが文字列の場合、PrintForm、PreviewFormメソッドを実行する前に、PrintDataプロパティに印刷データを設定してください。
- ※ 印刷に使用するデータのレコードは、それがデータ内の最後のレコードであっても、必ず、改行(/r/n)で終わるようにしてください。

同様にプリンタ設定、位置微調整ボタンも容易に配置することができます。

#### <プリンタ設定>

```
JBCCPPTA1.SetPrinter(n)
```

#### <位置微調整>

```
JBCCPPTA1.SetOffset(n)
```

n : フォーム番号(0~)

- ※ プリンタ設定をアプリケーションから行う場合、DefPrinterプロパティ=1としてください。